水土里ネット奈良

奈良の土地改良

発行所
奈良県土地改良事業団体連合会
奈良県橿原市城殿町459番地
TEL0744-29-1310 FAX0744-29-1312
http://www.naradoren.or.jp

農業生産の基盤整備

かんがい排水

・・・ 水 を 創 る ・・・

県営大和平野土地改良事業
（曽我川頭首工）

県営水田営農活性化
排水対策特別事業
（新川地区）

60周年記念
祝
the 60th anniversary
感謝の気持ちを
ここに

（創立35周年記念誌より抜粋）

目　　次

1. 60周年記念、第1弾『連合会設立までの経緯』 …… 1
2. 第60回　通常総会 …… 3
3. 令和元年度　奈良県多面的機能支払交付金研修会 …… 4
4. 令和2年度　奈良県　農村振興施策の概要～次世代に繋げる基盤づくり～ … 5
5. 令和2年度　水土里ネット奈良　組織体制 …… 7
6. 令和2年度　水土里ネット奈良　組織図 …… 8
7. 令和元年度　奈良県農業農村整備事業推進協議会　県外研修会 …… 9
8. 今後の行事予定、コロナ対策 …… 10

奈良県土地改良事業団体連合会は、60周年を迎えます。

60周年記念 祝 the 60th anniversary 感謝の気持ちをここに

農道整備事業　（創立35周年記念誌より抜粋）

【連合会設立までの経緯】

1　　耕地協会・土地改良協会

本会の前身は、昭和4年4月農務課（現在の奈良県食と農の振興部農村振興課）に設立された奈良県耕地協会であり、県の外郭団体として県下土地改良事業推進の一翼を担っていた。

戦後、食料問題の深刻化に伴い、食糧増産の国家要請に応えるために土地改良事業が最重点施策とされ、土地改良法が昭和24年に制定された。

昭和28年、同法の一部改正とともに名称を奈良県土地改良協会と改められた。このとき、全国的には各都道府県に土地改良協会が設立され、その連合組織としての全国土地改良協会とともに、土地改良事業の推進母体として活発に事業を開始した。

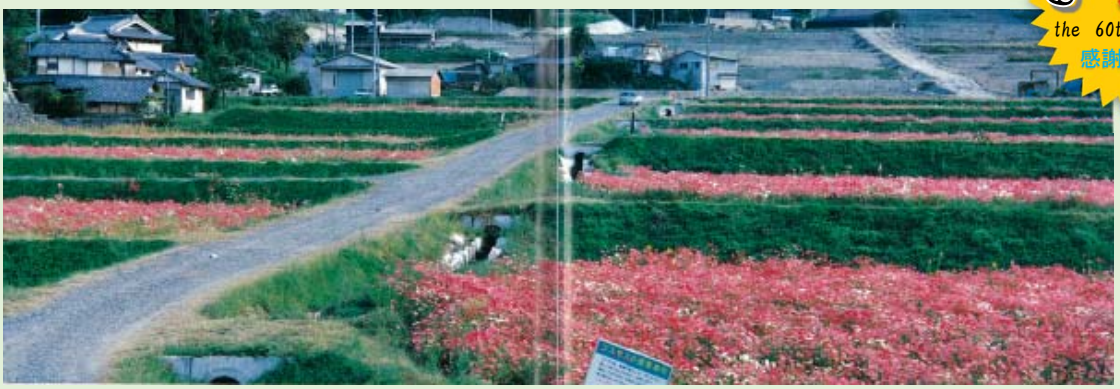
しかし、土地改良事業のかなめである本協会が法的根拠をもたないということは、種々の問題もあり、地位の確立強化を図るべきであるという時代の要請が高まり、昭和32年4月、法の改正がなされた。

法改正は、土地改良事業団体として、法制化するもので、第4章を新設して関係規定を整備し、土地改良区、市町村、農協など事業団体の協同組織により土地改良事業の効率的運営をはかることを目的とし、都道府県および全国を単位とする法人となった。

これを受けて奈良県では、昭和35年6月27日奈良県土地改良事業団体連合会が設立され、奈良県土地改良協会は連合会の設立に伴って解散した。

本年度の「奈良の土地改良」は、60周年を祝し60周年に関する記事も載せてまいります。

県営圃場整備事業（創立35周年記念誌より抜粋）



阪原地区

鴨神地区

2　奈良県土地改良事業団体連合会設立経過報告

改正土地改良法が公布せられたので、奈良県土地改良協会においてはその趣意に従って理事会又は総会の開催の際、法の解釈及び内容につき研究し土地改良協会の解散並びに連合会設立の時期、解散後の事務処理事項及びその方法、或いは運営等につき協議を行い、昭和34年3月31日理事会において解散、連合会設立についての具体的事項を研究する特別委員7名が選任せられ同年4月1日、7日、5月6日、16日特別委員会を開催し連合会設立に関する、法・定款・規約・解散並びに設立についての事務処理並びに運営の方法につき逐条的研究をなし、連合会の設立発起人の事業主体の代表者であることを条件として、発起人8名を決定した。

昭和34年12月24日設立発起人会を開催し連合会設立総会に付議、爾後法改正の趣旨、事業団体連合会設立の緊要性について各関係者に積極的に指導・啓蒙に努めた。昭和35年1月20日発起人会を開催し、設立総会の日時及び連合会総会に付議する諸条件について最終的の検討を了した。

2月29日頃より予定していた事業団体により同意証、入会申込受付事務が大いに進捗し、3月5日設立総会開催の公告を行なう。

3月29日奈良市片原町（現在の法蓮町）・春日野荘において奈良県土地改良事業団体連合会の設立総会を開催し、総会議事録のとおり極めて盛会裡に全員拍手のうちに当連合会の設立を見るに至った。

第60回　通常総会　開催

令和2年3月23日（月）、大和平野土地改良区3階（大会議室）において、会員86人の出席（当日出席者19人、委任状12人、書面議決書55人含む）を得て、第60回通常総会を開催いたしました。

総会会場　　コロナ対策のため、席間隔が開けられた

奥野信亮　会長　挨拶

本年は第60回目の通常総会となりましたが、新型コロナウイルス感染症の予防と蔓延防止のため、事前に委任状や書面議決書の活用を呼びかけて当日の出席人数を抑制すると共に、可能な限り座席間隔を拡げ時間短縮するなど、感染リスクの低減に努めて開催しました。

はじめに奥野信亮　会長から来賓および出席者の方々に連合会への支援と協力に対するお礼と総会提出議案の慎重な審議をお願いする旨の挨拶があり、その後来賓の小林健二　県農林部農村振興課長より、日頃から県の農業農村整備事業への協力に対する感謝と土地改良法改正や農業用ため池の管理及び保全に関する法など国の動きを踏まえ、県としても地域の実情に応じた農業生産を支える基盤の整備や防災重点ため池の対策を推進していくこと等の説明があり、今後も奈良県の農政の推進にご協力下さるようにお願いする旨の挨拶がありました。

議事進行にあたり、上田清　大和郡山市長が議長に選任され、下記の案件について審議いただき議決承認を得ました。

小林健二　農村振興課長　祝辞

議事進行　上田清　大和郡山市長

第1号議案　平成30年度事業報告について
第2号議案　平成30年度会計収支決算、貸借対照表及び財産目録について
第3号議案　令和元年度会計収支補正予算の専決の承認について
第4号議案　令和2年度事業計画について
第5号議案　令和2年度経費の賦課徴収について
第6号議案　令和2年度会計収支予算について
第7号議案　令和2年度役員報酬について
第8号議案　令和2年度一時借入金の限度額及び借入方法について
第9号議案　令和2年度金銭の預入先について

令和元年度　奈良県多面的機能支払交付金研修会　開催

166活動組織、26土地改良区、県・市町村等の計368名が参加されました！

令和2年2月12日(水)、かしはら万葉ホール1階ロマントピアホールにおいて、令和元年度奈良県多面的機能支払交付金研修会を開催しました。

研修会では、奈良県多面的機能支払推進協議会　菅谷義寛　会長の開会挨拶の後、全国水土里ネット会長会議顧問　参議院議員　進藤金日子氏による「農業農村整備事業の情勢について」の特別講演が行われました。続いて、近畿農政局　農村振興部　一阪郁久氏より「土地改良区と多面的機能支払組織との連携について」の講演が行われ、奈良県の多面的機能支払交付金制度の実施状況や制度の概要、活動継続に向けた取り組みなどについてお話しいただきました。次に、奈良県農林部　農村振興課　馬場祐子　主任主査より「多面的機能支払交付金の円滑な執行に向けた留意点」に関して情報提供が行われました。

一般社団法人　農山漁村文化協会　東海北陸近畿支部　福留均支部長の講演では、DVD「地域のつながりを強化する多面的機能支払活動」が上映されました。耕作放棄地を利用した小学生の大豆の栽培・加工や米作りの学習、地元中学生のボランティアによる農業用水でのボート下りなどの活動が紹介されました。

続いて、株式会社　栗本鐵工所　立石泰教氏より、「簡易な水路補修について」の講演が行われました。FRPM板による開水路補修工法（QP2工法）について、従来の材料に比べて向上した点の説明や、施工手順の動画紹介などがありました。

最後に、JAならけん　植田重孝　審査役による閉会挨拶で研修会は終了しました。

開会挨拶　菅谷義寛 会長

進藤金日子 氏

近畿農政局　一阪郁久 氏

農山漁村文化協会　福留均 支部長

栗本鐵工所

閉会挨拶　JAならけん
植田重孝　審査役

令和2年度　奈良県　農村振興施策の概要　～次世代に繋げる基盤づくり～

令和2年度　農村振興の施策体系

①農業の振興を支える　～　水・土　～
～　未来農業を見据えて　～
1-1　特定農業振興ゾーンの推進に　　むけた農地の整備
・・・特定農業振興ゾーンにおいて、　　各ゾーンに応じた農業振興の推進
にむけた農業基盤の条件整備
1-2　農地マネジメントを踏まえた農地の保全・活用
・・・大和平野地域における畑地化推進等に適した条件整備
・・・国営・県営で造成した水利施設等の更新や改良
1-3　主要産地（リーディング品目産地等）の維持・発展
・・・主要産地における農業振興に適した保全、活用

②農村の魅力を活かし賑わいを創る　～　人　～
～　元気な農村を目指して　～
2-1　農村地域資源の保全・継承の取組
2-2　観光的農業の展開による農村での地域活性化

③農村資源を活かし安心を与える　～　防　～
～　安心安全な暮らしを守る（県土強靭化対策）　～
3-1　地震や水害に強い農村づくり
3-2　農村の財産である農業水利施設（水路や井堰等）の計画的な
長寿命化対策推進

次世代に繋げる農業や農村の基盤づくり

①農地の保全・活用
・・・奈良県の農業生産を支える基盤整備を、
農地マネジメントや担い手対策とともに
地域の実情に応じて展開

1-1　特定農業振興ゾーンの農業推進にむけた農地の整備
特定農業振興ゾーンにおいて、各ゾーンに応じた
農業振興の推進にむけた農業基盤の条件整備
☆【新規】 県営ほ場
（広陵町百済川向地区　五條市丹原地区）

大和平野地区での
特定農業振興ゾーン

1-2　農地マネジメントを踏まえた農地の保全・活用
農地マネジメントと連携し、チャレンジ品目等を導入しやすくするための農業基盤の条件改善や集落営農などの農業組織の育成
●県営ほ場整備（奈良市北村地区）
●県営畑地帯総合整備
（五條市湯塩地区、大和高原南部地区）
●国営施設応急対策
（五條吉野地区）

1-3　主要産地（リーディング品目産地等）の維持・発展
主要産地（リーディング品目産地等）の更なる産地化を目指した農業基盤の条件改善や施設の維持改修
●農地環境整備
（明日香村明日香地区、曽爾村曽爾地区）
●一般農道（西吉野賀北地区、大野向渕）　他

②　農村地域を支える体制づくり
・・・　営農や美しい農村資源を支えるために、地域づくりとともに
農村資源の保全・活用と農村地域の活性化を展開

2-1　農村地域資源の保全・継承のための取組
地域ぐるみで取り組む農地・農業用施設の保全活動と継承
土地改良法改正に伴う、地域組織（改良区等）の体制整備
●多面的機能支払
●中山間直接支払
●中山間基金
●農村資源の維持管理体制再編強化事業（土地改良法改正対応）

2-2　観光的農業の展開による農村での地域活性化
農業を基本としつつ、地域の農作物や食、景観、自然、文化などの農村資源を活かした観光的農業の展開による農村での地域活性化を支援
●農村地域づくり事業

③ 農村地域の安全・安心確保
・・・農村地域で暮らす人々や下流域の都市で暮らす人々が
安心して生活できる農村づくりを展開

3-1　地震や水害に強い農村づくり
ため池などの防災減災対策（ハード対策）とハザードマップ作成、パトロールや遠隔監視などの実証（ソフト対策）
ため池治水や水田貯留推進のための条件改善
●県営ため池（葛城山麓　高山地区）
●防災重点ため池
・ハザードマップ
（県HP）http://www.pref.nara.jp/53967.htm
・耐震調査等
●水田貯留　他
☆【新規】 県営ため池（桜池地区）
☆【新規】 ため池管理体制モデル事業

ため池整備
（高山ため池）

3-2　農村の財産である農業水利施設（水路や井堰）の計画的な長寿命化対策　（アセットマネジメント）
農村の貴重な財産である農業用水路や井堰等の将来の管理を踏まえた更新対策の推進
農村の財産の治水や環境維持など有効に活用するための検討や条件改善
●農業水利施設ストマネ（白川地区）
●農業水利施設診断、環境用水
●土地改良施設適正化
●国営直轄事業負担金　他

令和2年度　水土里ネット奈良　組織体制

更なる効率的な業務遂行のため、組織再編を行いました。

今後とも会員の皆様には、ご相談ご要望等お気軽にご活用下さい。

新任職員のご紹介

事務局　局長
杉井　雅章
（すぎい　まさあき）

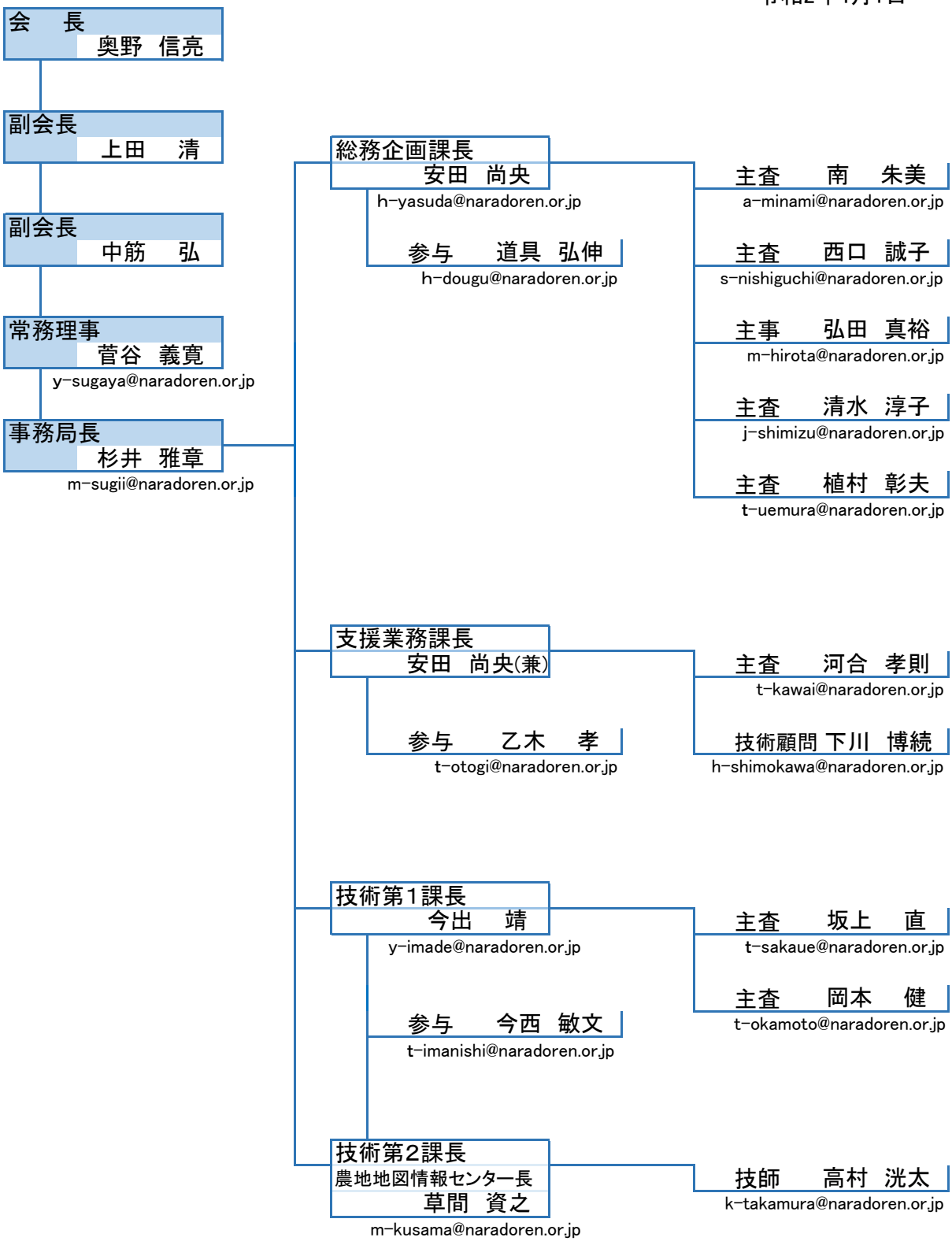
令和2年4月1日付けで奈良県土地改良事業団体連合会に採用されました、杉井　雅章と申します。
3月に定年退職しましたが、平成25年度から2年間農村振興課に在籍しておりました。当時とは環境も異なり、土地改良事業について、皆様に教えてもらいながら勉強しているところです。
組織は、「人」と常々思っておりまして、当会に採用されたこと及び皆様とのご縁を大切にしていきたいと思っております。
今後とも、会員皆様からのご指導のほどよろしくお願いします。

総務企画課　主査
西口　誠子
（にしぐち　せいこ）

令和2年4月1日付けで奈良県土地改良事業団体連合会に採用され、総務企画課に配属となりました西口誠子と申します。
私がこれまでに仕事を通じて大事にしていることは、
・丁寧に正確に、尚且つ速く仕上げられること。
・気遣いができて、周りの人を思いやれること。
・自分が楽しく取り組めること。
です。そして以下の自分の持ち味を加え土地改良事業の発展に貢献できるように日々精進してまいります。
◎年下の方からも『笑顔』と『明るさ』に癒されると言ってもらえます。
◎3人の子育てで培った『パワフルさ』と『マルチタスク力』には自信があります。
◎相手の要望に耳を傾け『誠実な対応』を心がけます。
今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

令和2年度　水土里ネット奈良　組織図

令和2年4月1日



令和元年度　奈良県農業農村整備事業推進協議会　県外研修会　開催

兵庫県稲美町にて、ため池ハザードマップについて学びました。

令和2年2月20日(木)、令和元年度奈良県農業農村整備事業推進協議会　県外研修会を開催し、兵庫県稲美町にてため池ハザードマップの取り組みについての講義を受け、ため池の現地視察を行いました。奈良県・市町村の職員、奈良県農業農村整備事業推進協議会事務局の計28名が参加しました。

はじめに、兵庫県稲美町　産業課　中山哲郎 課長より、ハザードマップの取り組みについてご講義いただきました。

稲美町では、平成16年に三度の台風により、ため池の決壊や浸水被害が多くあったことから、平成18年3月に全国で2番目にため池ハザードマップが作成・配布されました。

稲美町にはため池が88箇所あり、町面積の10．7%を占めます。ため池は農業用水の供給や洪水調整機能を有していますが、水害を引き起こす可能性も併せ持っています。稲美町ため池ハザードマップは、大雨と地震が同時に発生するという最悪の場合を想定し、ため池決壊による浸水被害想定と避難対策等の情報をわかりやすく住民の皆さんに提供することを目的に作成されたものです。

稲美町　中山哲郎　産業課長

ハザードマップの作成・配布にあたって、複数のため池の浸水想定区域を重ねることで、どの池の被害かわかりにくい、避難経路を明示するかどうか(現在は明示していない)、などの課題があり、現在検討中であるとお話しされていました。

質疑応答

質疑応答では、ため池の耐震性調査に関する質問があり、調査の結果、5箇所の防災重点ため池の耐震性能が低い結果となったため、現在県営事業で改修補強工事を行う予定であるとの回答がありました。

講義の後、満水面積が県内最大の加古大池、太陽光発電が行われている琴池を視察しました。参加者は太陽光パネルが多く敷き詰められているため池を興味深く見られていました。

加古大池

琴池（太陽光パネル）

今後の行事予定

開催日	会議・行事名	場所
6月8日(月)	公益財団法人農業振興会館　理事会	大和平野土地改良区
6月中旬	近畿水土里ネット連合協議会　総会	大和平野土地改良区
6月下旬	奈良県土地改良区連絡協議会　総会	
	公益財団法人農業振興会館　農業振興功績者表彰受賞式	
〃	奈良県土地改良事業団体連合会　決算理事会・監事会	
	公益財団法人農業振興会館　評議員会	
	近畿水土里ネット連合協議会　農政局政策提案・意見交換会	
	近畿水土里ネット連合協議会　農林水産省政策提案要望	
7月中旬	近畿水土里ネット連合協議会　第1回ブロック研修会	

※　今後の新型コロナウイルス対策の状況を踏まえ、変更する場合があります。

コロナ対策　『出典：首相官邸HPより』

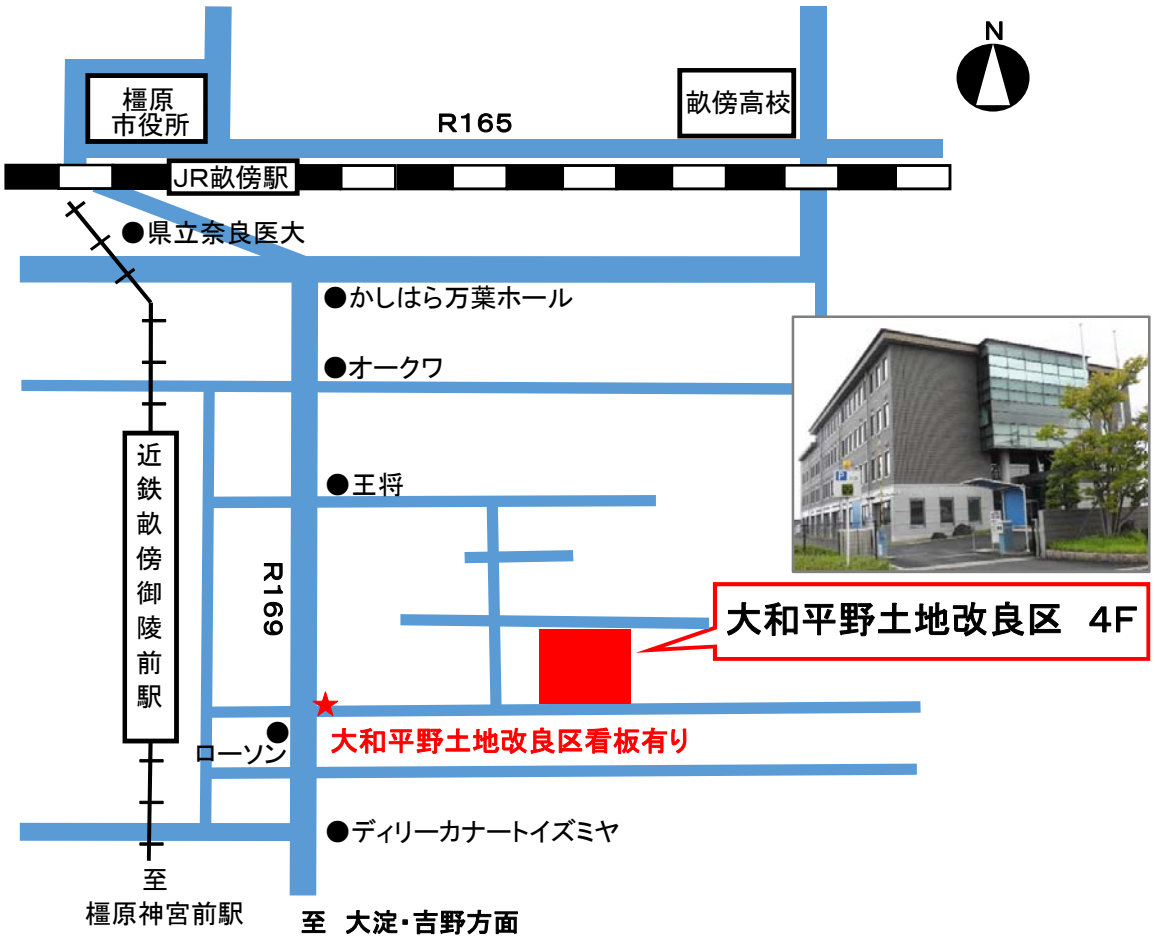
自分のため、みんなのため、そして大切な人のため。私たち一人ひとりが、
できることをしっかりやっていく。それが私たちの未来を作ります。

お願い1：外出はできるだけひかえてください。
やむを得ず外出する場合には、マスクを着用していただくようお願いします。

お願い2：「三密」（密集、密閉、密接）を避けましょう。
集団感染は、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」という共通点があります。
できるだけ、そのような場所に行くことを避けていただき、やむを得ない場合には、マスクをするとともに、換気を心がけていただく、大声で話さない、相手と手が触れ合う距離での会話は避ける、といったことに心がけてください。

お願い3：咳エチケット（咳やくしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえること）や手洗いをお願いします。

新型コロナウイルス感染症は、罹患しても約8割は軽症で経過し、治癒する例が多いことが報告されていますが、高齢者や基礎疾患をお持ちの方は、重症化するリスクが高いことが報告されています。皆さまご自身を守るため、そして、大切な人を守るため、3つのお願いへのご協力をお願いします。



奈良県土地改良事業団体連合会（水土里ネット奈良）

〒634-0033　奈良県橿原市城殿町459番地　大和平野土地改良区4階
TEL：0744-29-1310　FAX：0744-29-1312　http://www.naradoren.or.jp

● 編 集 後 記 ●

昨年、4月1日から改正土地改良法が施工され、新たな土地改良区会計基準並びに会計細則例も示されました。今後も引き続き、複式簿記会計の導入などを中心に情報提供や研修会等、会員への支援を実施してまいりたいと思います。

全国各地で女性の会が設立され、活発な活動が行われています。本会としましても、設立を念頭に一歩を踏み出したいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新たな事務局長と職員16名で業務を実施してまいります。
60周年を機に、さらに会員の皆様に寄り添った支援ができますよう、一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

「奈良の土地改良　NO.66」発行に当たりまして、御協力下さった皆様ありがとうございました。
充実した紙面作りを念頭に試行錯誤しながら作り上げました。本紙をお手にして頂けましたことを嬉しく思うとともに、また、取材などでお目にかかれることを楽しみにしています。　（西口）